

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成20年1月31日(2008.1.31)

【公開番号】特開2006-163947(P2006-163947A)
 【公開日】平成18年6月22日(2006.6.22)
 【年通号数】公開・登録公報2006-024
 【出願番号】特願2004-355882(P2004-355882)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 21/20 (2006.01)

G 0 6 F 21/24 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 15/00 3 3 0 A

G 0 6 F 12/14 5 3 0 D

【手続補正書】
 【提出日】平成19年12月10日(2007.12.10)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

ユーザにより要求されたサービスを提供する情報処理装置であって、
 ネットワークを介してサービスの提供を要求するユーザに対して認証処理を実施する複数の認証処理手段と、

サービスに関する情報と、該サービスの提供に際して認証処理を実施する前記認証処理手段に関する情報との対応づけを記述した所定の情報を記憶手段に記憶する制御手段と、
前記所定の情報に基づいて前記ユーザにより要求されたサービスに対応する前記認証処理手段に関する情報を判別する判別手段と、

サービスに関する指示を行う指示手段と、を備え、

前記制御手段は、前記指示手段によるサービスに関する指示があった場合に、当該サービスに関する情報と、当該サービスの提供に際して認証処理を実施する認証処理手段に関する情報との対応付けを記述した前記所定の情報を更新することを特徴とする情報処理装置。

【請求項 2】

前記指示手段による指示に基づいて、サービスが新たに追加された場合、前記制御手段は当該追加されたサービスに関する情報と、当該サービスの提供に際して認証処理を実施する前記認証処理手段に関する情報との対応付けを記述した所定の情報を新たに前記記憶手段に追加することを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 3】

前記指示手段による指示に基づいて、サービスが削除された場合、前記制御手段は当該削除されたサービスに関する情報に対応する前記所定の情報を前記記憶手段から削除することを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 4】

前記指示手段による指示に基づいて、サービスの提供を開始した場合、前記制御手段は当該開始されたサービスに対応する前記所定の情報を書き換えることを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 5】

前記指示手段による指示に基づいて、サービスの提供を停止した場合、前記制御手段は当該停止されたサービスに対応する前記所定の情報を書き換えることを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 6】

第 1 の情報処理装置と、該第 1 の情報処理装置と通信可能に接続される第 2 の情報処理装置とを備える情報処理システムであって、

前記第 1 の情報処理装置は、

複数のサービスを提供する複数の提供手段と、

ネットワークを介して該サービスの提供を要求するユーザに対して認証処理を実施する複数の認証処理手段と、

前記各サービスを提供する提供手段に関する情報と、該各サービスの提供に際して認証処理を実施する前記認証処理手段に関する情報との対応づけを記述した所定の情報を記憶手段に記憶する制御手段と、

前記所定の情報に基づいて前記ユーザにより要求されたサービスに対応する前記認証処理手段に関する情報を判別する判別手段と、を備え、

前記判別手段により判別された認証処理手段に関する情報により特定される認証処理手段を用いて、前記ユーザの認証がなされた場合に、前記ユーザにより要求されたサービスを提供し、

前記第 2 の情報処理装置は、

前記提供手段に関する指示を行う指示手段を備え、

前記制御手段は、前記指示手段による前記提供手段に関する指示があった場合に、前記所定の情報を前記記憶手段に記憶することを特徴とする情報処理システム。

【請求項 7】

複数のサービスを提供する複数の提供工程と、ネットワークを介して該サービスの提供を要求するユーザに対して認証処理を実施する複数の認証処理工程と、前記各サービスを提供する提供工程に関する情報と、該各サービスの提供に際して認証処理を実施する前記認証処理工程に関する情報との対応づけを記述した所定の情報を記憶手段に記憶する制御工程と、前記所定の情報に基づいて前記ユーザにより要求されたサービスに対応する前記認証処理工程に関する情報を判別する判別工程と、を備え、前記判別工程により判別された認証処理工程に関する情報により特定される認証処理工程を用いて、前記ユーザの認証がなされた場合に、前記ユーザにより要求されたサービスを提供する情報処理装置における情報処理方法であって、

前記提供工程に関する指示を行う指示工程を備え、

前記制御工程は、前記指示工程による前記提供工程に関する指示があった場合に、前記所定の情報を前記記憶手段に記憶することを特徴とする情報処理方法。

【請求項 8】

請求項 7 に記載の情報処理方法をコンピュータによって実現させるための制御プログラムを格納した記憶媒体。

【請求項 9】

請求項 7 に記載の情報処理方法をコンピュータによって実現させるための制御プログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

その顕著な例が、XML-SOAP (Simple Object Access Protocol) を利用した分散オブジェクトモデルである Web サービスへの応用である。そして、この Web サービスの出現により、従来のオブジェクト指向モデルからサー

ビス指向アーキテクチャ(SOA: S e r v i c e O r i e n t e d A r c h i t e c t u r e) への転換が徐々に進められるようになってきている。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

上記の目的を達成するために本発明に係る情報処理装置は以下のような構成を備える。
即ち、

ユーザにより要求されたサービスを提供する情報処理装置であって、

ネットワークを介してサービスの提供を要求するユーザに対して認証処理を実施する複数の認証処理手段と、

サービスに関する情報と、該サービスの提供に際して認証処理を実施する前記認証処理手段に関する情報との対応づけを記述した所定の情報を記憶手段に記憶する制御手段と、
前記所定の情報に基づいて前記ユーザにより要求されたサービスに対応する前記認証処理手段に関する情報を判別する判別手段と、

サービスに関する指示を行う指示手段と、を備え、

前記制御手段は、前記指示手段によるサービスに関する指示があった場合に、当該サービスに関する情報と、当該サービスの提供に際して認証処理を実施する認証処理手段に関する情報との対応付けを記述した所定の情報を更新することを特徴とする。